温暖化対策の切り札として注目

目の省エネ住宅基準(ネスト)。

でき、取り組まない理由がない

省エネ住宅です。

## 省エネ住宅に取り組 理由

を緩和し、自治体が補塡する福 住宅を断熱化することで、命や 伴い介護期間が長くなる日本の 健康を守り、 医療や介護の負担 エネルギーで光熱費を削減で き、しかも快適。さらに住宅高 寿命化で資産価値が高まりま

不可欠と言われるSDGsその

日本海新聞

環境キャ

またがる包括的なアプローチが ょうか。それは、複数の目標に されているのですが、なぜでし

す。また、県産材の活用推進は、 る重要な産業でもあり、この分 野の投資で、 て循環します 国もグリーン成長戦略の主要 地域に税収増とし

連事業者や医療、林業、環境・ い現状に危機感を持った住宅関 エネルギーの分野の専門家や行 任宅断熱基準に法的拘束力の無 この制度、そもそもは日本の 来ているのではないでしょうか。

政など多様なセクターが協働で

推進センター・山本ルリコ)

そろそろタグ付けから卒業し、 このように地域の課題とされる 課題に正面から取り組む時期が ルへ近いはずです。 SDG sも アーマこそ、<br />
持続可能性のゴー

アプローチの軸となりました。

日本海新聞環境キャンへ

※2021年1~12月、毎月1ページの特集紙面を掲載し

【企画・制作】新日本海新聞社 地域プロデュー

日本海新聞

(鳥取県地球温暖化防止活動 「Net Nihonkai」で紹介していま ックナンバーや協賛各社の最新情報いただけます。

## DGs)と幅広い分野で関わる。鳥取県内でも、こうし めた持続可能な社会を実現していくための開発目標(S 一一一般ではじめとする環境問題もその一つで、国連が定 「待ったなし」の危機が迫る。地球の 年間企画 活 参画企業

SDGsを通して考える。

石する2030年までの10年、私たちに何ができるか、

たグローバルな社会問題を解決すべく、SDGsの達成

に貢献する企業の取り組みが広がりつつある。未来を左

汚水処理システム 自然浄化力生かす

紹

トナー」制度に参画している企業の活動を紹介

する。

日本海新聞

見える化」して横展開を促すための「とっとりSDGsパー SDGsに積極的に取り組む企業、団体、個人などの活動を

介の

12月まで毎月1回、さまざまな環境問題をテー マに取り上げます。 「とりeco最前線」としてスタートします。 日本海新聞環境キャンペーンは2021年、



V

ないインドで国際協力機構

、下水道の普及が進んでい

業として導入され、<br />
注目され

(JICA) の普及・実証事

が開発した環境配慮型トイレ

上の「大成工業」(米子市)

生活排水処理施設設計·施

大成工業(米子市)

布を施した土壌処理装置を通 分解処理した後、特殊な不織 にたまった汚水を嫌気性菌で

て処理水を土中に拡散させ

が不要で半

永久的。日本国内

(月)

00

0

0

下水道や処理水の放流先が

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GCALS ◆SDGsとは 国際社会が協力して2030年ま でに達成を目指す「持続可能な ットで採択された17項目の 目標などで構成されている。通

環型社会」などの課題に高い 関心が寄せられている。 しとっといいDG sパー 討中だ。認証企業が何らかの 制度をイメージしている。 ノリットを実感できるような

づくりにどうつながるか。

-SDG sが鳥取県の地域

いうSDGsの理念の下、人 口減少対策などの地方創生に

一人取り残さない」と

を聞いたことがある」と答え

SDG sという言葉・内容 県民意識調査では約3割が

トナー登録団体」は約半年で

た。若年層の割合が高く県内

孝氏に、現状や浸透策などに

都道府県ランキング202

GSへの取り組み評価が高い 民間調査会社が行った「SD

鳥取県は、住民の視点で

水処理システム。地中タンク た自然の浄化力を生かした汚

同社が1983年に開発し

設置した同社の汚水処理シバラナシ市の公衆トイレに

中にかけ実証を行う。三原博

「安全な水とトイ

ナガル市)に設置され、本年

と大学の学生寮(ムザファル

域の公衆トイレ(バラナシ市)

2021年1月31日

ど約500カ所で実績がある。

インドでは、ガンジス川流

では公園や山小屋のトイレな

ステム。奥の建物は隣接

学校(2019年4月

している。

教育などに

レを世界中に』を軸に、

脱炭素社会へ対応 地域づくり継続し

鳥取ガス(鳥取市)

らためてガスをはじめ、一再生

る地域づくりの視点を備えた 事業を展開していた同社。あ

可能エネルギ

力の安定供給、

0」で1位だった。

SDG s推進課課長の中村吉 策調整を担う鳥取県新時代・ sの概念を取り入れ、総合政 鳥取県の政策全般にSDG

信することはイメージアッ 録の反応は良かった。企業と 説明することもあり、団体登 どに出向きSDG sの意義を してSDGsの取り組みを発 これまで企業や経済団体な

安全・安心社会の実現」、次 いで「省・再生可能エネルギ

が、十分ではない。「平和と の認知度は上がってきている

宅や職場でできることはたく 同導入することも選択肢の さんある。COの排出削減に とや低騒音型機械の使用も当 の普及も必要で、エリアで共 なく災害時にも役立つ蓄電池 つながる太陽光の利用だけで てはまる。個人ではごみの減 をリサイクルし再利用するこ っになり得ると考えている。 ・分別、節電・節水など自

きる可能性が広がることは大 さまざまな人々が連携協力で できたことで、分野を問わず 結び付く。世界共通の思想が

防災·気候変動対策、循

方創生に結び付け活性

ジネスマッチング機

投資先としての信用度も上が になり、人材確保に有利だ。

一人一人が心掛ける

必要な人へ届ける

一企業、個人で実践できる 業で人々の暮らしを支える鳥 ガス、電気などインフラ事

環境分野の実践事例は。 例えば建設業なら建設廃材

社ホームページ上で公表し DG sへの取り組み姿勢を自 りSDGsパートナー制度」 性の高い事業特性から、元々 に参画。これを機に今月、S 環境への配慮や住み続けられ 取ガス(鳥取市)は昨年11月、 **馬取県が呼び掛ける「とっと** エネルギー供給という公共

SDG SY

とを宣言したとを宣言したとのではある。とのではあれる地域で 本社ロビーに掲げる とっ 脱炭素社会へ 目標達成を目 い。エネルギ

原朋美さんがランドセルの処 プロジェクトリーダーの江

分こ困っている声を多く間 約200個集めた。 譲渡会の まな、小国 ージタグとともに県内外から

をしっかり継続し、その上で 住み続けられる地域づくりをどの地域貢献活動を通じて、 など、鳥取ガスだからできる 水素の可能性のさらなる追求 達成すると宣言した。 ト通信や宅配水などの生活サ 経営企画グループの森田裕 これらの取り組み 也或ナパ の対応も図りた 山間部見守りな -原料としての インターネッ 由来を含む電

一部長は

とりeco」って何だろう

00 0 00 それは、鳥取県民が一体感をもって環境保全活動や温暖化対策に取り組むための県民運動のこと。 では「フードロス」は?「エシカル」な消費とは?「グリーン購入」って何?「NE-ST」って何て読む? 今も環境問題に関係した新しい言葉が次々と生まれます。